



歯ッピ一通信

2016年

4月号

Vol. 16

岡山市歯科医師会

広報委員会発行

《本会からのお知らせ》(熊代)

28年度の秋頃に、妊婦・パートナー健診新規協力医のための講習会を開催予定です。この講習会を受講しなければ協力医として登録されませんので、ご希望の先生は必ず受講していただきますようお願いいたします。また、市歯報道に同封して県歯代議員会の概況報告をさせていただきます。要点のみとなりますので詳細は県歯会報などご参照ください。

《各部からの報告とお知らせ》

【公衆衛生部】

《一般》(大島)

妊婦・パートナー歯科健康診査の27年度分(3月31日までの受診分)の受診票は4月5日の提出期限を厳守で事務局へご提出下さい。また通年事業のため、引き続きご協力をお願い致します。4月より障がい者(児)に対する歯科医療技術者養成事業が本格的にスタートします。現在の1期生は7月までとなりますが、その後もご協力をお願いするとともに新規協力医を募集予定です。多くの先生方の参加をお待ちしています。

《教育》(難波)

多くの会員の皆様には今年度も合同検診で大変お世話になります。前回の歯ッピ一通信でも触れましたが、今年度は診断基準等重要な変更があります。また、学校から児童、生徒に配られる「歯・口の健康診断結果と受診のお知らせ」にも重要な変更があります。本年度の合同検診説明会は4月20日に開催されます。是非ご参加下さい。

《訪問》(相坂・南本)

27年度岡山市から委託された「入所施設における口腔ケア等導入支援事業」は対象2施設において総括会議を行い、高評価を得て無事終了いたしました。施設職員の参加者からは、口腔ケアに対する意識の向上ができたとの感想を頂きました。3年目となる28年度もさらに充実した事業となるよう準備を進めて参りたいと思います。ご協力いただきました先生方ありがとうございました。

【研修部】

《社会保険》(太田)

3月29・30日に開催されました診療報酬改定講習会には大変多くの先生方にご参加頂き誠に有難うございました。難解な部分も多かったかと思えます。4月20日の社保講習会ではもう少し日常臨床に的を絞ってお伝えしたいと考えております。ご参加の程よろしくお願い致します。

《研修企画》(岡崎)

これからますます高齢者の患者を診る機会が増えてきます。かかりつけ歯科医として摂食・嚥下機能を正しく判断することができれば、ライフステージに合わせた歯科治療を行うことができます。また、安全に口から食べられるようなサポートもできるのではないかと思います。そのような企画も現在考えております。

【総務部】

《医療管理》(浜崎)

労災はスタッフが通勤時、業務時に災害に遭った場合に適用されます。通常の勤務経路から逸脱している場合や休憩時の外出時には適用されません。(院長の指示による場合を除く)ご注意ください。

《厚生》(横山)

今季ここまで好調で今年こそJ1昇格への期待高まるファジアーノ岡山ですが、恒例の団体観戦の案内を先日FAXで送らせていただきました。皆さん奮ってご参加ください!

《広報》(横山)

市歯報道162号がまもなくお手元へ届きます。委員の先生方校正作業ありがとうございました。リアルタイムな情報はこの歯ッピ一通信で、更に掘り下げた内容や継続事業詳細等は市歯報道にてお知らせいたします。ぜひご一読ください。

【技工学院】(居樹)

3月5日に2年生10名全員無事卒業し、全員が就職が決まっております。本年は国家試験の統一化により卒業式が早まっているため、卒業生は卒業後も学院に来てCAD/CAM実習などやり残した課題をこなしました。2月28日初の統一国家試験が、大阪歯科大学にて行われ3月28日発表があり、見事全員合格いたしました。開学以来合格率100%を堅持することができました。これもひとえに会員の先生方のご指導あってこそその結果だと考え感謝致しております。また、4月1日には入学式を行い新生23名が入学しました。

《行事予定》

4月20日(水)	合同検診説明会・社保講習会(20:00)	県歯会館5階
5月15日(日)	ファジアーノ岡山団体観戦(14:00)	シティライトスタジアム
5月25日(水)	診療報酬改定後社保講習会(20:00)	県歯会館5階
6月5日(日)	第207回学術臨床放談会(10:00)	県歯会館5階
6月22日(水)	第9回定時代議員会(20:00)	県歯会館5階
10月2日(日)	歯ッピ一フェア2016(10:00)	岡山天満屋

《終わりに》(寺門)

いよいよ四月より岡山市休日急患歯科診療所(旧市民病院別館)にて障がい者(児)歯科診療に関する事業が始まります。行政の声掛けのもと、岡大のスペシャルニーズ歯科の江草教授のご協力で計画されました。政令市の歯科医師会にもかかわらず障がい者(児)診療に関する事業に手をつけていなかった状態でしたが、やっと最初の一步を踏み出すことができ、うれしく思います。さらに今回の重要な点は、会からの長年の要望がやっと行政側に通じたことです。これからもさらに歯科医師会の仕事が認められていこう、頑張っていきたいと思います。